

1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所	南都留郡鳴沢村大田和	地区名	大田和Ⅳの2 (オオタワヨノニ)	事業主体	山梨県																																							
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 大田和地区は南都留郡鳴沢村に位置する急傾斜地であり、平成23年3月10日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は平均斜面高14m、平均勾配34度の急傾斜地であり、保全対象には人家2戸、指定避難所である大田和公民館があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：2戸 < 5戸以上 ※ ・重要公共施設の有無：有 (大田和公民館 (避難所)) (保全対象=人家2戸、大田和公民館 (避難所)) ※評価基準値 □副次目標 -</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <table border="1" data-bbox="1093 435 1982 643"> <tr> <td>総事業費</td> <td>135 百万円</td> <td>工期</td> <td>R5~R9</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>118 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">383 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>118 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">52 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">16 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">147 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">168 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">B/C</td> <td>3.2</td> </tr> </table> <p>※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 地形条件を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 地元の要望に基づいており、鳴沢村から受益者負担金の同意は得られている。</p>				総事業費	135 百万円	工期	R5~R9	基準年	R4	経済効率性	費用	118 百万円	便益	383 百万円		建設費	118 百万円	一般資産被害抑止	52 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	16 百万円				公共土木施設等被害	147 百万円					その他※	168 百万円		B/C					3.2
総事業費	135 百万円	工期	R5~R9	基準年	R4																																									
経済効率性	費用	118 百万円	便益	383 百万円																																										
	建設費	118 百万円	一般資産被害抑止	52 百万円																																										
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	16 百万円																																										
			公共土木施設等被害	147 百万円																																										
			その他※	168 百万円																																										
B/C					3.2																																									
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 重力式擁壁工 L=68m H=3.0m 法面保護工 L=20m A=400m3</p> <p>②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和9年度</p> <p>④総事業費 約135百万円 (国費61百万円(4.5/10)、県費61百万円(4.5/10)、その他13万円(1.0/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="255 1118 992 1262"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>用地取得、立木補償</td> <td>5 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>重力式擁壁工</td> <td>40 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>重力式擁壁工</td> <td>40 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>法面保護工</td> <td>35 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 未整備</p>				令和5年度	地形測量、地質調査、詳細設計	15 百万円	令和6年度	用地取得、立木補償	5 百万円	令和7年度	重力式擁壁工	40 百万円	令和8年度	重力式擁壁工	40 百万円	令和9年度	法面保護工	35 百万円	<p>総合評価 [貢献度ランク：b]</p> <p>(4) 事業位置図等</p> 																											
令和5年度	地形測量、地質調査、詳細設計	15 百万円																																												
令和6年度	用地取得、立木補償	5 百万円																																												
令和7年度	重力式擁壁工	40 百万円																																												
令和8年度	重力式擁壁工	40 百万円																																												
令和9年度	法面保護工	35 百万円																																												

2. 添付資料シート

【平面図】



【写真①】



【写真②】

